



事業計画書

令和8年4月1日
一般社団法人デポルターレ八戸
代表理事 金濱 亨

第7期事業年度（令和8年度：2026年～2027年）における事業計画として、法人経営及び法人事業の目標に対する評価を下記にまとめる。

★評価指標 A：十分達成したと言える状況 B：達成まで課題がある状況 C：まだまだ努力が必要な状況

1 経営目標と評価指標(マネジメント・ガバナンス分野)

(1) 公明正大な法人運営と法人や法人の理念における認知度向上を図ること。

●評価指標(A)：多様なオウンドメディアでのきめ細かな情報公開及び会員への丁寧な情報発信を達成する。情報公開イベント等を通じた政策提言を年1回以上実施する。

(2) 財務において年度黒字化を達成すること。

●評価指標(A)：年度黒字を達成する。自主財源、事業収入は前年度より増やす。

(3) 関係諸機関や団体と積極的な協働連携を図ること。

●評価指標(A)：様々な関係諸機関との連携協働をする。委託事業は1件受託する。

(4) その他法人事業に該当する事業活動について、適宜理事会での審議議決を以って迅速な試行錯誤と挑戦を具体的行動としてアクションすること。

●評価指標(A)：状況に応じてオンラインを駆使して迅速な対応、情報発信、審議議決を持ちながら実施可能な法人事業・プロジェクトにきめ細やかに取り組む。

2 法人事業の目標と評価指標(事業・各プロジェクト分野)

当法人が定款第3条2項に掲げる法人事業を具体化した以下の具体的事業・プロジェクトに重点的に取り組む。

(1) 地域スポーツ推進事業

① 氷都八戸を標榜する活動拠点である八戸市の冬季スポーツ推進に係る活動を展開すること。



ア スケートレクリエーションに関する広告及び活動を実施すること。

●評価指標(A)：スケートレクリエーションに関する広告及び活動は1件以上実施する。

イ スケートツーリズムと併せてスケート機会提供すること。

●評価指標(A)：未経験者・一般の方へスケート機会を20回提供する(県ス連委託事業)。

②地域部活動の受け皿としてのクラブチーム運営を充実

ア D8SC の各カテゴリで目標達成及び大会参加まで幅広いニーズを網羅したチーム運営を行う。

●評価指標(A)：全員自己ベスト更新、希望の大会参加までコーチング環境を整える。

イ 新規の地域部活動としてのチーム運営を開拓する。

●評価指標(A)：広告1件、所属地域部活動1団体追加を達成できる。

(2)生涯スポーツ推進事業

総合型クラブデポルターレ八戸のサークル活動をとおして、生涯スポーツ・レクリエーションスポーツ・生涯学習を主目的にした週末サークルのコミュニティを市民に提供すること。

①週末サークルの充実

●評価指標(A)：常時月に4回以上年間60回の多項目サークルの定期開催する。

②仲間づくりに挑戦

●評価指標(A)：チーム活動以外のスタッフ会員2名及び多世代の利用会員10名の新規入会を達成する。

(3)アスリート育成事業

総合型クラブデポルターレ八戸の競技チーム運営をとおして、長期的視点で持続可能な成長を見据えた競技者育成を行うこと。

①スピードスケート競技者育成チームデポルターレ八戸 SC(D8SC)を運営する。

●評価指標(A)：選手の自己ベスト全員更新をほぼ達成する。

②スピードスケートショートトラック競技での国スポ出場・全国大会入賞に向けた強化支援活動を行う。

●評価指標(A)：所属選手のショートトラック大会に出場・入賞をコーチングする。

(4)アスリート実践事業

正会員メンバー自身が各種競技会へ積極的にエントリーし、法人理念(sports as life)を体現する姿を広く見せること。

●評価指標1(A)：正会員全員が1回以上の競技会エントリーしアスリート活動を行う。



- 評価指標 1 (A) : ショートトラック国スポ成年男子枠獲得。
- 評価指標 2 (A) : ショートトラック都道府県対抗大会でリレー入賞。

(5)スポーツツーリズム事業

特に氷都八戸におけるスケートツーリズムの価値創出のため、実際の観光客に対するスケート観光事業を提供すること。

- 評価指標(A) : スケートツーリズムについての広告及び活動について1件以上実働する。

(6)イベントプロデュース事業

関係スポーツ団体や行政機関等と連携し、当法人目標達成及び法人事業に該当するスポーツ・文化活動の普及振興・コミュニティづくり・まちづくりに関わるイベント事業のマネジメント及び実践を行うこと。

- 評価指標(A) : 主催・共催イベントを1件以上企画運営する。

3 委託事業等について

(1)青森県スケート連盟の委託事業「100周年記念事業」(①100周年記念イベント②STスケート教室)の主運営に全力を注ぐ。

これ以上の年度途中における詳細の事業・プロジェクト実施にあたっては、理事会での審議と決議を以って業務の執行にあたる。